

# 第1回福岡空港調査P I 有識者委員会

## 議 事 要 旨

【開催日時】平成16年12月9日（木）14:00～16:00

【開催場所】福岡サンパレス2階パレスルーム

### 【出席者】

- |              |             |        |
|--------------|-------------|--------|
| (1) 委員（五十音順） | 筑波大学社会工学系教授 | 石田 東生  |
|              | 西日本新聞社特別顧問  | 杉尾 政博  |
|              | 神戸大学工学部助教授  | 竹林 幹雄  |
|              | 公認会計士       | 土井良 延英 |
|              | 弁護士         | 山本 智子  |

### (2) 福岡空港調査連絡調整会議からの出席者

#### ・福岡空港調査連絡調整会議メンバー

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 国土交通省九州地方整備局副局長 | 岩瀧 清治 |
| 福岡県副知事          | 武田 文男 |

#### ・福岡空港調査連絡調整会議幹事

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 国土交通省九州地方整備局港湾空港部長 | 戸田 和彦 |
| 国土交通省大阪航空局飛行場部長    | 松本 清次 |
| 福岡県企画振興部理事兼空港対策局長  | 西村 典明 |
| 福岡市総務企画局理事         | 中島 紹男 |

### 【資料】次第、出席者名簿、座席表

- 資料1 福岡空港調査P I 有識者委員会規約（案）
- 資料2 福岡空港の概況について
- 資料3 福岡空港の総合的な調査について
- 資料4 福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(P I 計画)及び福岡空港調査P I 実施計画(ステップ1)素案について
- 資料5 福岡空港調査P I 有識者委員会の審議事項の進め方（案）

### 【議事要旨】

#### (1) 福岡空港調査P I 有識者委員会規約（案）について

事務局より、資料1に基づき提案され、原案の通り了承された。

#### (2) 委員長の互選及び委員長の職務代理者指名について

- 委員の互選により、石田委員が委員長に選出された。その後、石田委員長の指名により、山本委員が委員長の職務代理者に選出された。

- 石田委員長はあいさつの中で、各委員に対し、次の3点を要請した。

- ① このP I が大規模な空港では初の事例であり、かつ、方向性を探る段階からの実施であることを、新しいチャレンジとして捉え、いいものを作るという気概で取り組むこと

② 委員会には行政からの独自性、中立性が求められることから、そのための対応

③ 十分な議論を尽くし分かりやすい結論を出していきたいこと

また、事務局に対して委員会の業務が完遂できるようしっかりとサポートを行うことを要請した。

(3) 報告事項

- ・ 福岡空港の概況について国土交通省大阪航空局松本飛行場部長から説明が行われた（資料2）。
- ・ 福岡空港の総合的な調査について国土交通省九州地方整備局戸田港湾空港部長から説明が行われた（資料3）。
- ・ 福岡空港の総合的な調査に係る情報提供及び意見収集のあり方(PI 計画)及び福岡空港調査PI 実施計画(ステップ 1)素案について福岡県企画振興部西村理事から説明が行われた（資料4）。

(4) 審議事項

- ・ 福岡空港調査PI 有識者委員会の審議事項の進め方（案）について事務局から説明が行われた（資料5）。
- ・ 審議の結果、以下のことについて委員会として確認された。
  - ① 事務局から提案のあった審議の進め方について原案通り了承する。
  - ② 委員会の資料及び議事録は原則として公開する。
  - ③ 個人情報等で情報公開できないものは、あらかじめ要領等に制限列举で定めておく。
  - ④ 本委員会の第2回会議から原則として傍聴を認める。
  - ⑤ 事務局は傍聴等に関する要領案を石田委員長及び山本委員のアドバイスを受けて取りまとめ、各委員にメール等で諮り、次回の会議までに決定する。
  - ⑥ 傍聴等に関する要領については決定次第、策定経緯を含め公開する。
- ・ 石田委員長からまとめとして次の発言があった。
  - ① 委員会ではとことん議論することが必要であると考えており、多数決などは避けたい。やむを得ず少数意見を明記することもあり得るが、委員会の時間が長くなっても議論を深め、共通の認識を得たい。
  - ② PI の効率的な運営は大事であるので、積極的に助言をしていくのが委員会の任務と考えている。また、今後のPI においては、4つのステップを踏むという進め方自体が問題となった場合も、福岡空港調査連絡調整会議側として対応できる柔軟性を持ってほしい。
  - ③ 大規模な空港としては最初の事例であるが、笑顔とフレンドリーさにあふれたPI を目指し、監視や視察を堅苦しくなく行う。